
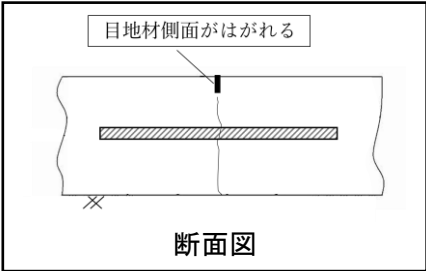
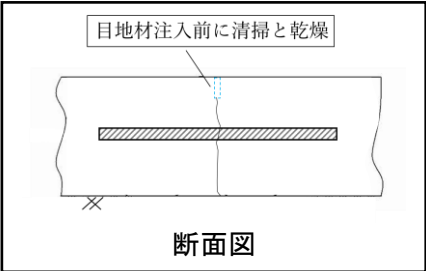
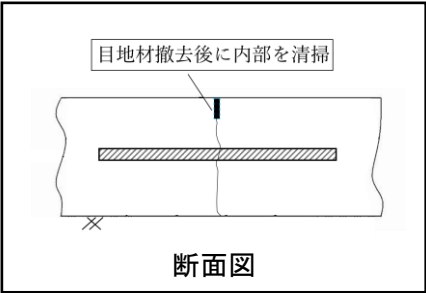


発生箇所	①縦目地 ②横目地
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-6 目地の施工
<p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用前の目地部において、注入目地材とコンクリート版の間に隙間が生じた。 	
<p>●原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目地材充填前の目地溝内の清掃不足，乾燥不足によりはく離が生じた。 ・目地注入材施工前のプライマーの塗り忘れや塗布量の不足なども原因として考えられる。 	 <p style="text-align: center;">断面図</p>
<p>●発生防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目地溝内の清掃と乾燥を十分に行い，コンクリートの含水状態が低い状態で目地材の注入を行うことが望ましい。 ・目地注入前にプライマーを適量塗布する。 	 <p style="text-align: center;">断面図</p>
<p>●発生した場合の対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目地材を撤去し，内部を清掃し，プライマーを塗布した後に，再注入を行う。 	 <p style="text-align: center;">断面図</p>